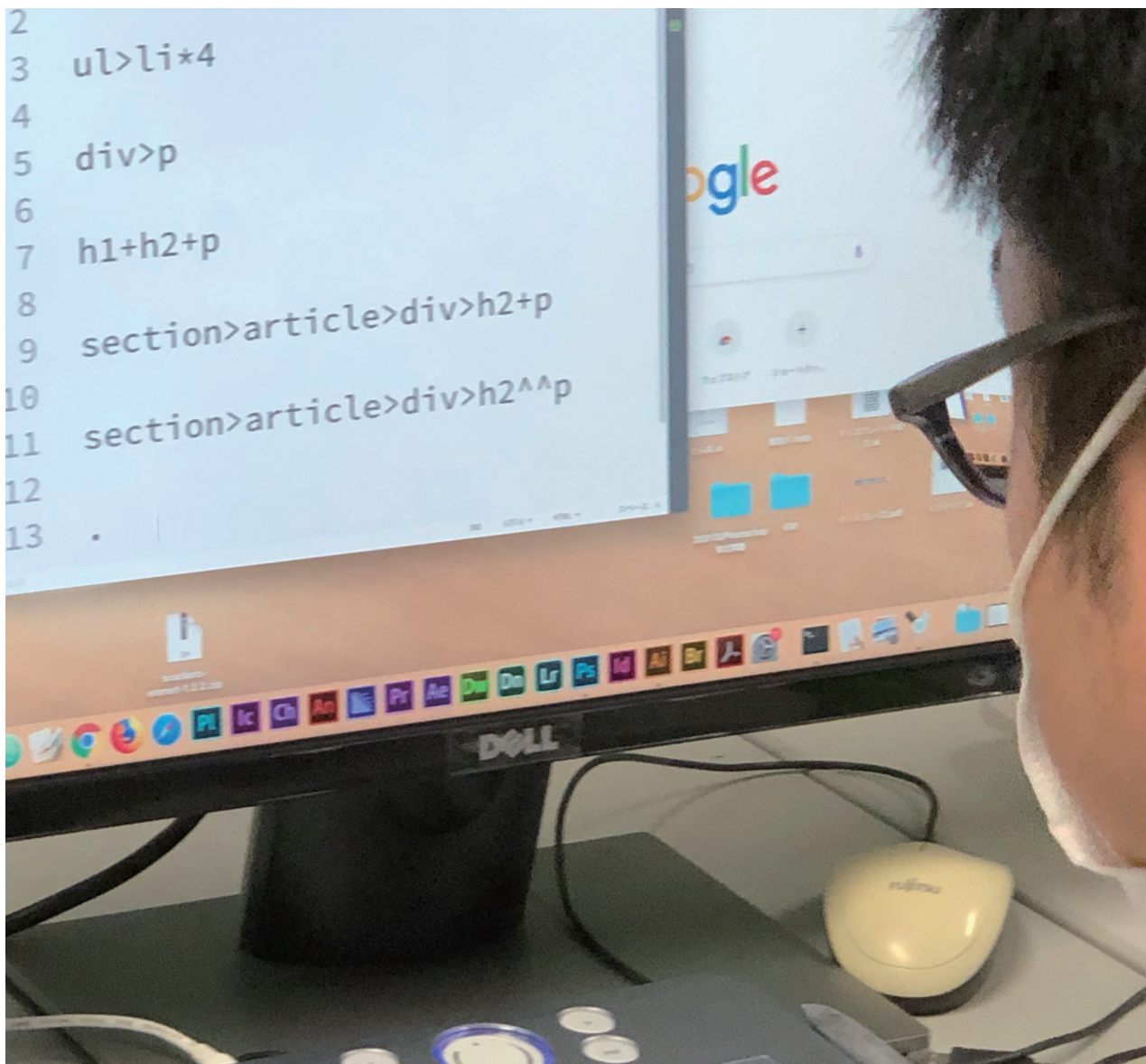


IDDNewsletter.....10

2020
October



特集

Web デザイン

最近では、インターネットを利用した Web サービスの利用もごく普通のこととなりました。特に、いわゆる「コロナ禍」の中、自宅の PC 上から操作できるこの仕組みは急成長しているといえるでしょう。その基礎中の基礎にあるのが HTML と CSS です。学科だより 10 月号では、情報デザイン科の科目「情報技術Ⅰ・Ⅱ」で扱っている、HTML と CSS のコーディングによる Web ページの制作について御紹介します。

Web デザイン

情最近では、インターネットを利用した Web サービスの利用もごく普通のこととなりました。特に、いわゆる「コロナ禍」の中、自宅の PC 上から操作できるこの仕組みは急成長しているといって良いでしょう。その基礎中の基礎にあるのが HTML と CSS です。学科だより 10 月号では、情報デザイン科の科目「情報技術 I・II」で扱っている、HTML と CSS のコーディングによる Web ページの制作について御紹介します。

私たちは普段、パソコンやスマートフォン、タブレット等の端末を使って、情報を検索したり、メールでやりとりをする等、様々な「Web サービス」を利用しています。パソコンへのソフトウェアのインストールを不要とするブラウザ型の Web アプリケーションやあらゆる家電や家具等がインターネットにつながる IoT 等がその代表的なものと言えるでしょう。

コロナ禍で自宅に居ながらモノやサービスを購入する機会が増え、美術展・展覧会等を含む多くのイベントが「Web 開催」に切り替わりました。

このような Web アプリケーション等の制作には、まず Web ページの本体ともいえる HTML ファイルを作成しなければなりません。これは、HTML (Hyper Text Markup Language) という言語で記述された文書データで、タグを使って「見出し」や「本文」、「段落」、「引用」といった要素を括っていくことにより、情報を構造化していきます。

以前は、文字を大きくするのに、H1 タグ、段組するのに Table タグ、中央揃えのために center タグ ... といったように、HTML の要素で見た目を整えていくことがよく行われていましたが、これは HTML の言語仕様を考えると、決して好

ましいこととは言えません。HTML は、構造化された意味内容そのものであり、見た目を指すものではないからです。このような構造に厳格な HTML の組み立て方の理念をセマンティックと言いますが、いわゆる「モダンテクニック」と呼ばれる HTML のコーディングにおいては、これが一番重視されます。

スタイルは、CSS (Cascading Style Sheet) で指定します。HTML のタグに対応する要素をセレクタで指定し、形や色、フォント、高さ、幅等をプロパティとパラメータで定めていきます。こうすることで、コードの再利用性が高まりますし、意味内容とスタイルの分離が実現する訳です。

現在は、Web ページ作成サービスもかなり高度なものになり、制作者が HTML コードに全く触れることなく、ビジュアル的かつ直感的にマウスで操作するだけで、誰でも簡単に制作できるものも出てきました。HTML のことを全く知らないという人でも、文字や写真、動画といった様々なコンテンツに溢れたページを簡単に作れるようになりました。

しかしながら、このようなサービスも内部的には HTML コードで組まれていきます。コーディングの知識がないと、ひとたびページに不具合が生じた時にはお手上げの状態に



なってしまふこともあるでしょう。ですから、開発者の立場では、HTML ソースを解読するためにも、Web 制作の基本は学んでおくことが必須です。

情報デザイン科では、こうした HTML を記述する技術を学ぶことができますが、実はそれをマスターしただけでは、Web ページのデザインができるまででは言いきれないかもしれません。デザインと言うからには、そこに「情報の整理」が組み込まれる必要があるからです。

例えば、学生の制作の様子を見てみると、目につきやすいテンプレートや新奇な機能が用意されていたりすると、そこを出発点に作品を作り始めようとすることがあります。あるいは、制作中に何らかの余白ができてしまったとき、その空白を埋めようとし過ぎるきらいもあります。そうした彼らの意識は、表面的な形状であるとか見映えといったビジュアルにしか向けられていないことが多いように思います。

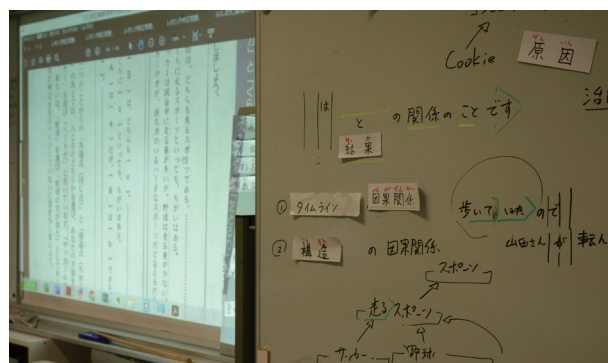
そのような Web ページは、読む側にとって、求めている情報に辿り着きづらかったり、あるいは、重要な情報が読み手に伝わりにくいページであったりします。

Web ページをデザインする目的は「情報が整理される」ことにあります。そのためには、情報が適切にカテゴライズされる必要がありますし、デザインのルールや法則性に従って表現されている必要があります。

つまり、ここでいう「分かりやすい」とは、情報を抽象化し、構造化すること自体を指しています。ただ、学生によっては、ものごとの認識において、必ずしもこのような抽象的な方略を用いていないかもしれません。しかし、HTML:CSS のコーディングの学習は、職業自立のための教育コンテンツとして準備しているものです。ある範囲にラベルを貼り、分けていくこと自体を「分かりやすい」として客観的に理解し、ひいてはそれが社会参加へのエンパワーメントとなっていく。そのことが職業学科としての責務であると考えます。

Web ページを通した部分的な情報発信だけに囚われず、全体を俯瞰して設計していく力を最終的に身につけさせたいと考えます。そうした思考力を、学生には身につけてほしいと思います。

IDDN



Contents

2-3

特集

Web デザイン

最近では、インターネットを利用した Web サービスの利用もごく普通のこととなりました。特に、いわゆる「コロナ禍」の中、自宅の PC 上から操作できるこの仕組みは急成長しているといえるでしょう。その基礎中の基礎にあるのが HTML と CSS です。学科だより 10 月号では、情報デザイン科の科目「情報技術 I・II」で扱っている、HTML と CSS のコーディングによる Web ページの制作について御紹介します

Welcome to Information Design Department!!

北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科「学科だより」をお読みいただきありがとうございます。

校舎の周りは紅葉で色づき、朝晩とめっきり寒くなりました。10 月からは後期がスタートし、学生はそれぞれの課題や目標に向かって精いっぱい取り組んでいます。

道内では、コロナウイルス感染者数が過去最多を更新するなど、高い水準で感染が続いています。本校でも引き続き感染予防の措置に取り組んで参ります。

また、学生が学業に勤しみ、充実した学校生活を過ごしていけるよう、スタッフ一同、指導の充実に努めて参ります。



情報デザイン科学科だより

Information Design Department

IDDNewsletter

October 2020 8

IDDNewsletter

October 2020

発行人／北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科「学科だより」編集チーム

発行／北海道高等聾学校

〒041-0261 北海道小樽市銭函1丁目5-1

www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp

※ご意見、ご要望などにつきましては、上記 Web ページより電子メールでご連絡ください。